

令和4年度予算

令和4年度当初予算額は、一般会計が224億円、特別・企業会計が225億8,099万8千円で総額449億8,099万8千円です。前年度当初予算額に比べて7億6,029万5千円（1.7%）減少しています。一般会計は、前年度当初に比べて5億6,000万円（2.6%）増加しています。

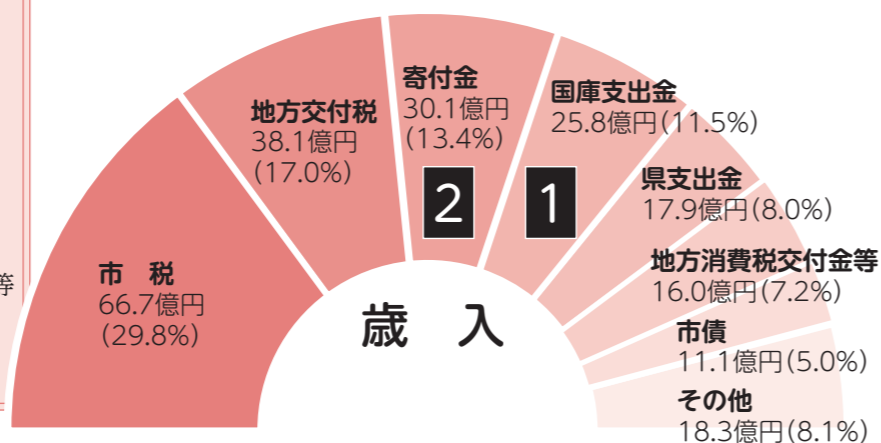
問合せ先：財政課 ☎ 8710



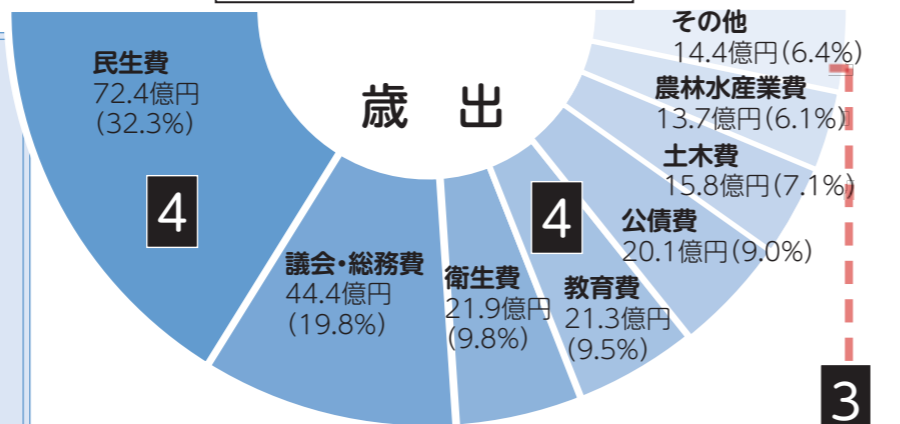
財政課の鈴木さん

1 国や県の補助金を積極的に活用
 （鶉野飛行場線の整備や東高室ほ場整備に活用）

2 ふるさと納税は30億円見込み



総額 224 億円



3 中小企業者等への支援が増加

4 保育、教育費が増加

項目	金額 (万円)	前年度比 (%)
総額	449億8,100	前年度比 (1.7%減)
一般会計	224億	前年度比 (2.6%増)
特別会計	108億8,644	前年度比 (6.5%減)
企業会計	116億9,456	前年度比 (4.6%減)

【歳入】用語解説

- 市税・・・市民税、固定資産税等
- 地方交付税・・・地方財源を調整する国の交付金
- 寄付金・・・ふるさと納税等
- 国庫支出金・・・使いみちを限定された国の交付金
- 県支出金・・・使いみちを限定された県の交付金
- 地方消費税交付金等・・・消費税のうち地方分配金等
- 市債・・・市の借金
- その他・・・各種交付金、繰越金、使用料等

【歳出】用語解説

- 民生費・・・高齢者・障がい者・子どもの福祉等
- 議会・総務費・・・戸籍、徴税、防犯対策等
- 衛生費・・・健康の保持、ゴミ・し尿処理等
- 教育費・・・学校教育・施設整備等
- 公債費・・・借金の返済や利子の支払い等
- 土木費・・・道路、市営住宅の維持管理等
- 農林水産業費・・・農業振興、山林の管理等
- その他・・・消防・商工・労働等

教えて！かさいさん！

予算ってなに？

新年度が始まる前に、1年間でどのくらいの収入があるのか、どのような行政サービスを行うのかを計画して金額を見積もることを言うんだ。



加西市施政方針

給食・保育・医療費無料化へ

子育て世代が選ぶまちへ

①暮らしの充実

まず「子育て世代にやさしいまち」を目指します。新たに、小中学校や特別支援学校の給食費、0・1・2歳の保育料、病児病後児保育料を無償化します。そして、昨年7月から実施している高校3年生までの医療

費無料とあわせ、給食と保育、医療のすべてを無償化します。県内の自治体では初めての実施です。

また、これまでの定住促進住宅補助や家賃補助、U・J・Iターン補助などの施策については見直すとともに、子育て支援や教育の充実を図り、子育て世代に選ばれるまちに向け大きく舵を切っていきます。

施政方針のポイント 3つの柱

●子育てにやさしいまち

- ・給食・保育（0～2歳児）・医療費（高校3年生まで）を無料化（県内初）
- ・生後3カ月から満1歳を迎える月まで、毎月子育て用品を宅配

●多様性が尊重される社会

加西 STEAM を推進。「人類愛」「多様性」「イノベーション」の mindset を持った次世代型の教育を目指す。

●ゼロカーボンシティの実現

公共施設への自立分散型エネルギーシステムの導入を進め、平時の脱炭素化に加え、災害時にもエネルギー供給等の機能発揮を可能とする。

②教育の充実

次に「多様性が尊重される社会」を目指します。教育委員会では「加西 STEAM」をさらに推進します。STEAM 人材に求められるとされる「人類愛」「多様性」「イノベーション」の mindset を持った次世代型の教育を進めます。

最後は「脱炭素社会」を目指します。公共施設の自立分散型エネルギーシステムの導入を進めるとともに、企業や市民の皆さまへの太陽光発電設備や蓄電池の整備を支援し、ゼロカーボンシティの実現に向けた施策を進めます。

③脱炭素社会



2月25日の市議会3月定例会において、西村市長が新年度の市政運営の基本的な考えを示す「施政方針」を示しました。主要施策となる「3つの柱」で市民が心豊かに暮らせるまちづくりを目指します。ここでは、本年度の施政方針の概要を紹介いたします。